



## 2019年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2018年8月30日

上場会社名 株式会社ダイサン 上場取引所 東  
 コード番号 4750 URL <http://www.daisan-g.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 武敏  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 室長 (氏名) 多留 健二 TEL 06-6243-6341  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月30日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年4月期第1四半期の業績 (2018年4月21日～2018年7月20日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年4月期第1四半期	1,850	△4.7	△14	—	△12	—	△19	—
2018年4月期第1四半期	1,942	3.1	88	21.6	89	16.3	50	21.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年4月期第1四半期	△3.12	—
2018年4月期第1四半期	7.91	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年4月期第1四半期	8,092	6,602	81.6	1,029.63
2018年4月期	8,272	6,705	81.1	1,045.65

(参考) 自己資本 2019年4月期第1四半期 6,602百万円 2018年4月期 6,705百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年4月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2019年4月期	—	—	—	—	—
2019年4月期 (予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年4月期の業績予想 (2018年4月21日～2019年4月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	4.8	655	0.3	655	△1.2	420	6.2	65.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年4月期1Q	7,618,000株	2018年4月期	7,618,000株
② 期末自己株式数	2019年4月期1Q	1,205,110株	2018年4月期	1,205,110株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年4月期1Q	6,412,890株	2018年4月期1Q	6,412,890株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用情勢の改善が続き、個人消費は持ち直しの動きが見られるなど、景気は回復基調となりました。一方、大阪府北部の地震、平成30年7月豪雨による自然災害の発生により一部地域の経済に影響を及ぼしました。

当社に関連の深い住宅業界について、住宅着工戸数は前年同期と比べ減少が続き、利用関係別では特に持家、貸家に対する着工戸数の減少が目立ちました。また、建設業における人手不足は深刻さを増し、労働力確保の厳しい状態が続きました。

こうした状況において、当社では当事業年度を初年度とする新たな中期経営計画を立ち上げ、3事業年度の売上高、営業利益目標及び株主還元方針を設定致しました。計画においては中層大型建築物向け足場施工と製商品の販売拡大や施工サービス事業の資源を利用した事業領域の拡大、多様な人材の獲得と働きやすい職場環境の構築など5つの重点戦略を掲げております。当期間については、減少が想定される新築注文向け工事からの施工資源シフト、人手に頼らない建設現場に関わる新たなサービスの開拓、市場ニーズに対応した新型足場の開発、働く環境の改善として賃金や勤務体系など就労条件の改定を進めました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は1,850百万円(前年同期比4.7%減)、損益につきましては、営業損失14百万円(前年同期は営業利益88百万円)、経常損失12百万円(前年同期は経常利益89百万円)、四半期純損失は19百万円(前年同期は四半期純利益50百万円)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①施工サービス事業

施工サービス事業につきましては、新たな中期経営計画にて進めている中層大型建築物向けの営業活動を積極的に進めた結果、同建築物向けの足場施工は増加致しました。しかし、住宅着工戸数が軟調であることから、戸建て向けの足場施工は減少しました。また、夏場の猛暑が続いたことや、自然災害の発生により足場施工の稼働率が低下致しました。

以上の結果、売上高は1,662百万円(前年同期比0.7%減)、売上総利益は525百万円(同9.3%減)となりました。

#### ②製商品販売事業

製商品販売事業につきましては、中層大型建築物工事向けに安全性を高め、軽量化を進めている新型足場の開発を進めましたが、多様なニーズに対応した結果、完成が遅れることになりました。また、ビケ足場の主要販売先は、当社と同様に戸建て向けの足場施工会社が多くを占めるため、住宅向け工事の減少と足場施工者の不足によって、保有資材の稼働率が低調となったことなどから、ビケ足場に対する需要が大きく減少致しました。

以上の結果、売上高は171百万円(前年同期比29.6%減)、売上総利益は46百万円(同27.3%減)となりました。

#### ③その他

その他につきましては、業務受託料および保険代理店収入等で構成されており、売上高は16百万円(前年同期比33.3%減)、売上総利益は9百万円(同25.3%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少180百万円、電子記録債権の減少117百万円、たな卸資産の増加108百万円等により前事業年度末に比べ179百万円減少の8,092百万円となりました。

負債は、1年内返済長期借入金の減少8百万円、未払法人税等の減少113百万円、賞与引当金の減少36百万円、その他流動負債に含まれる未払金の増加31百万円、未払費用の増加22百万円、預り金の増加23百万円等により前事業年度末に比べ76百万円減少の1,489百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ102百万円減少の6,602百万円となり、自己資本比率は81.6%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年4月期の業績予想に関する事項につきましては2018年5月31日に公表いたしました数値から変更はありません。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年4月20日)	当第1四半期会計期間 (2018年7月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,249,166	2,068,568
受取手形及び売掛金	1,280,078	1,223,805
電子記録債権	253,375	135,379
たな卸資産	453,506	561,707
賃貸用仮設材	684,460	663,205
その他	25,525	27,816
貸倒引当金	△2,648	△2,614
流動資産合計	4,943,464	4,677,869
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,419,594	1,419,594
その他(純額)	562,629	625,524
有形固定資産合計	1,982,224	2,045,118
無形固定資産	92,171	114,347
投資その他の資産		
投資有価証券	713,464	713,930
その他	545,734	546,153
貸倒引当金	△4,862	△4,858
投資その他の資産合計	1,254,336	1,255,225
固定資産合計	3,328,732	3,414,691
資産合計	8,272,197	8,092,561
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	346,638	359,584
電子記録債務	203,226	199,957
1年内返済予定の長期借入金	8,700	—
未払法人税等	128,814	15,070
賞与引当金	152,445	116,444
その他	560,277	633,070
流動負債合計	1,400,101	1,324,126
固定負債		
資産除去債務	75,999	76,874
その他	90,439	88,680
固定負債合計	166,439	165,554
負債合計	1,566,541	1,489,681

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年4月20日)	当第1四半期会計期間 (2018年7月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	566,760	566,760
資本剰余金	649,860	649,860
利益剰余金	6,334,760	6,231,405
自己株式	△918,981	△918,981
株主資本合計	6,632,399	6,529,043
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	73,257	73,836
評価・換算差額等合計	73,257	73,836
純資産合計	6,705,656	6,602,879
負債純資産合計	8,272,197	8,092,561

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2017年4月21日 至 2017年7月20日)	当第1四半期累計期間 (自 2018年4月21日 至 2018年7月20日)
売上高	1,942,133	1,850,284
売上原価	1,285,667	1,268,537
売上総利益	656,465	581,747
販売費及び一般管理費	568,000	596,687
営業利益又は営業損失(△)	88,465	△14,940
営業外収益		
受取利息	166	107
受取配当金	932	1,258
受取保険金	—	17
受取賃貸料	300	—
その他	2,535	2,745
営業外収益合計	3,934	4,128
営業外費用		
支払利息	57	11
減価償却費	473	419
支払手数料	335	340
その他	2,129	1,063
営業外費用合計	2,996	1,835
経常利益又は経常損失(△)	89,403	△12,646
特別損失		
固定資産除売却損	—	102
特別損失合計	—	102
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	89,403	△12,749
法人税、住民税及び事業税	38,356	6,301
法人税等調整額	327	937
法人税等合計	38,683	7,238
四半期純利益又は四半期純損失(△)	50,719	△19,988

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自2017年4月21日 至2017年7月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,673,591	243,495	1,917,086	25,047	1,942,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,673,591	243,495	1,917,086	25,047	1,942,133
セグメント利益	579,451	64,507	643,958	12,507	656,465

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間（自2018年4月21日 至2018年7月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,662,267	171,302	1,833,569	16,715	1,850,284
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,662,267	171,302	1,833,569	16,715	1,850,284
セグメント利益	525,519	46,882	572,402	9,345	581,747

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。